

裁せられん。吾人は米國が日本の侵略行動に對し有效なる制裁方法を講じ先づ東亞の和平を獲得したる後歐戰問題を解決せられんことを切望するなり。即ち中國勝利の日は東亞和平の日なり。故に米國は和平の願望を達成せんことを積極的に中國を援助す可し。



内閣情報部五・二五（延龍）

情報第四號

湖南・貴州電臺北京語時事解説（十九日）（支那派遣軍報道部報告）

◎我國の外交政策

華僑諸君！ 歐洲大戰は今や中歐、北歐より西歐一帯に波及し瞭原の火の延び行く如く戦火は歐洲大戰開始以來未だ曾つて無き廣範なるものとなり中歐、南歐間の各小國は悉く恐怖の坩堝に投ぜられたり、英佛は敵に何等の大打撃を與ふるを得ず歐洲の危機は之が爲め更に情勢重大化し且つ太平洋に波及の可能を有するに至れり。

獨軍の和蘭占領後蘭領東印度は日本の侵略を受くる憂ひを生ずるに至れり。然れども他方米國は既に「歐洲大戰が如何に變化するとも米國人は當然太平洋の平和維持に責任を負ふ必要あり」と聲明し其の態度を闡明せり。之に對し我國外交部部長王寵惠博士は臨時國際放送局より米國に對し「世界情勢は如何に變化するとも中國外交政策は終始一貫不變なり」との放送を行ひ我國の抗戰に對する決意を披瀝し友邦の好意に對しては次の如く言明せり。敵軍の侵略行爲の繼續する限り我軍の抗戰は永遠に停止することなく戦争の行はるる限り徹底的抗戰を惜むものに非らず。吾人は抗戰過程中西方友邦の精神的及び物質的援助を蒙れること甚大なり。既往三年中我々は悉く自己の力、自己の血を以つて敵と戦ひ吾人の自由の爲めに奮

闘し來れり。經濟的援助は極めて些少なるも今日に至るまで吾人は依然抗戰を繼續中にしモ友邦の救援に依頼せず、勿論友邦の中國援助なきに非らざるも吾人は「自力更生」の一途を辿り來れり。吾人は常に徹底的抗戰により我國の土地完備を保持せんとの決意を有せり。而して我國の友邦に對する態度たるや必ず道義を中心と爲し正義の立場に立脚し數千年來の中國固有の道徳は依然其の中に存在せり。

吾人は斷じて物質的援助を重視せず如何に苦難なる境過中に在るも吾人は大國たるの襟度を忘れ上述せる王部長の所謂「中國外交政策は變更せず」なる言は全く徹底化しあり。

吾人は曩に一九三一年九月十八日敵軍侵略の烽火の我東北四省を蔽へるを見たるとき會て友邦に向ひ「敵の此の舉は第二次世界大戰の前奏曲なり。若し今にして之を僕滅せざれば將來全世界に影響を及ぼすべし」と警告を發せるに拘らず歐洲諸國は悉く大なる關心を拂はざりき。爾來今日に至り敵は更に中國侵略に一步を進め西方に於て虎視眈々侵略の機を覗へる軍國主義者は日本の中國侵略に垂涎惜く能はず遂に蹶起して今回の歐洲大戰の序幕は切つて落されたり。歐洲大戰により幾多の地圖は塗り更へられ此の戰爭により滅亡せる國家は五指に餘れり。然して其の當年拱手傍觀し生を安んぜるものにして今日世上に自由生存せるは誠に寥寥たるに非ずや。(續く)

此の狂風、暴雨中時々刻々歐洲の小國は併呑せられ今尙朝に「城夕に」國崩潰し去りつつあり大國も雖も安閑たらざるを得ざるなり。又當時日軍が海軍島を侵略せる際吾人は曾て「敵軍の此の舉は單純なる中日問題に影響し更に進んでは世界問題に關聯す可し」と言明せるも歐洲列強は聊かの注意をも拂はざりき。今日歐洲大戰の風雨中敵は海南島上に蟠踞し蘭印及び米領ヒリッピンを近く望見し該地方は悉く日本の絶大なる脅威に脅かされつつあり。各民主國の時局に對する認識不足は遂に今日各自の危機となり各國自體を濟する迄に進展せり。斯くして各國は人類の福利は大衆によりて維持せられ得るを認識するに至りたるも事件發生の當初に於て之に注意を拂ふを得ば何ぞ事此處に至らんや。太平洋上の問題は歐洲大戰に影響を蒙ること甚大なるは今更言を俟たず故に吾人は南洋に在往せる數千萬の華僑に更に重大關心を有し友邦米國の注意の此處に及はんとことを希望するものなり。英國は現在戰爭に捲込まれ極東を顧みる暇なきも米國は全く優越なる立場にあり若し對日輸禁を實行し其の侵略行爲を制裁せば中國に對する援助は最大限度に達せりと云ふ可く太平洋の情勢は必ずしも重大化するに至らず。日本は更に南洋或は蘭印に侵入する暇なし。蘇聯は中國抗戰期に於ける最大の同情者にして此の歐洲大戰中に更に中國援助政策を強化せば極東平和の實現は困難ならず。若し日軍を驅逐するを得ば世界平和の基礎は確立す可く今日の外交政策は既往のそれと何等異ることろなし故に世人の注意を喚起する所以のものなり。

内閣情報部 二五 情報第五號

一、西貢佛語放送 (二十四日)

(東京都市通信局聴取)

(ロンドン) 英國政府は國內フアシスト黨員の絶滅を期する目的を以て獨逸ナチス黨との關係が明白となつた、英國ナチス黨首領モズレー氏は其の黨員八名と共にスコットランドヤードの爲に檢擧されその事務所となつてゐた同氏邸は搜索を受けた。サーモズレー氏の檢擧、ラムゼー議員の投獄發表は國民の満足の意を買ひセンセーションは惹起されなかつた。

二、ツューゼン獨語放送 (二十四日)

英佛は獨軍の損害五十萬人と大ぼら宣傳を放送してゐる。それは恐らく英佛側の損傷を云つてゐるのであらう。獨軍の報道に未だかつて虚偽のあつたことはない。正確な數字は戦争後堂々發表する。但し獨逸損傷の輕微なことを、敵國の幾分の一にも當らぬ事だけは確である……云々